

# エコロジカル・ネットワークの取り組みについて

## 【目次】

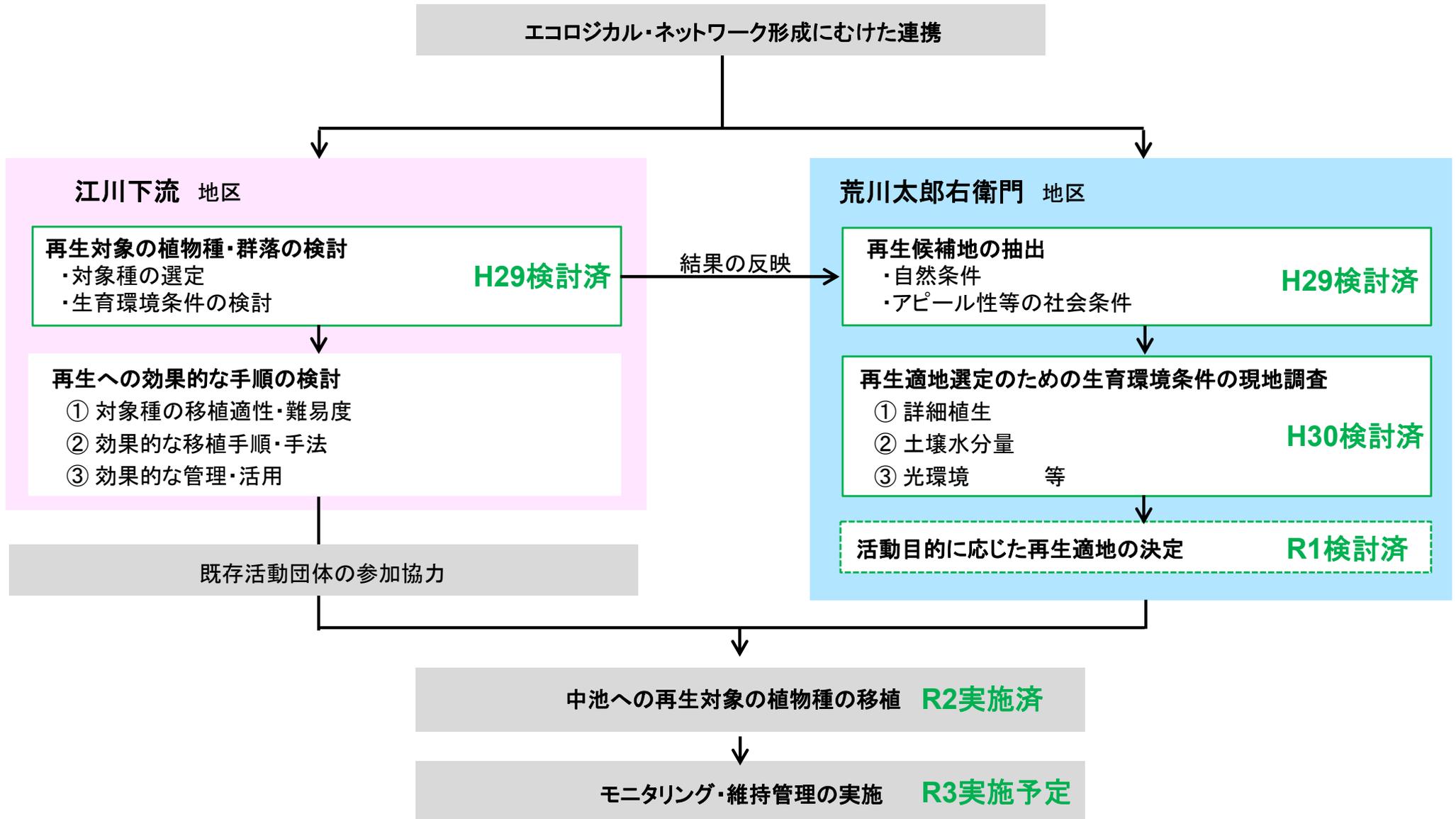
- |                      |    |
|----------------------|----|
| 1. 活動の経緯と予定          | P2 |
| 2. サクラソウ群落の移植位置      | P3 |
| 3. 移植対象の植物種と移植位置の再検討 | P4 |
| 4. 追加対象種の概要と移植位置（案）  | P5 |

## 【ご注意】

本資料は、生態系保護の観点から生物の位置に関わる情報などは非表示としています。  
ご了承下さい。

# 1. 活動の経緯と予定

- 目的 ① 自然再生事業地の効果的なアピールを図るために「サクラソウ群落」の再生を目標とした活動を推進する  
② 「江川下流地区」との連携によるエコロジカル・ネットワーク形成に向けた活動を推進する



## 2. サクラソウ群落の移植位置

- 荒川流域のエコロジカル・ネットワーク形成において自然環境の核となる自然再生地の湿地環境を保全・再生する取り組みとして、中池の③中池サクラソウ移植地（下赤枠）において、サクラソウ群落の植物を移植しました。

### ①中池広場

中池広場は、オオブタクサ等の外来種の再繁茂が見られるため、「在来種による草地環境の形成」を促し、ギンイチモンジセセリなど乾性草地に生息する希少な生きものが繁殖する場とする。

### ②中池広場対岸

中池広場対岸は、オギ群落周辺にオオブタクサ等の外来種の再繁茂が見られるため、「オギ原の形成」を促し、ホンドカヤネズミやオオヨシキリなどの生息空間とする。



### ③中池サクラソウ移植地

中池サクラソウ移植地は、大型草本が優占種となっている中池湿地を「サクラソウ群落の形成」を促す。また、浅い水辺などに生息するトウキョウダルマガエルなど生息環境を維持する。

### ④中池奥広場

水際のシンジュ伐採跡地は、1) 水辺へのアクセスを活かし低茎草地（河原草地）の育成、また、2) クヌギ林などの河畔林を育成し、オオムラサキなどの生息環境を維持する。

### 3. 移植対象の植物種と移植位置の再検討

- 移植対象の植物種の選定にあたっては、「サクラソウ群落」の構成種を基本としながら、荒川太郎右衛門地区のかつての美しい原風景の創出を念頭に、希少性やアピール性にも留意しつつ、過年度までに左表の計15種の候補種の選定を行いました。
- 令和3年2月24日に左表の7種（黄色網掛け）を中池サクラソウ等の移植地に移植しましたが、「ヨシやツル植物の繁茂状況から生育に必要な維持管理が困難」、「種子及び苗の確保が困難」等の理由から、継続的に見せるための維持管理が困難なため、継続的に維持管理ができ、かつ人に見てもらえる事（アピール性）を念頭に季節毎に花を楽しんでもらえるような植物を、エコロジカルネットワーク形成の観点を踏まえ、近隣の江川下流地区からの移植にて対応することを検討しています（5頁参照）。

現状(変更前)
種名
コウホネ
アサザ
ヌマトラノオ
トモエソウ
ノウルシ
ホソバオグルマ
サクラソウ
チョウジソウ
ノハナショウブ
ミズチドリ
バアソブ
コオニユリ
カワラナデシコ
ノジトラノオ
キツネノカミソリ

R2年度植栽種

R3年度以降追加対象種



将来(変更後)		環境省レッド	埼玉県レッド
種名	変更理由		
—	種子及び苗の確保が困難であるため。		NT
—	現況では生育に必要な維持管理が困難なため。	NT	VU
ヌマトラノオ	(当初の予定どおり、育苗した株等の移植)		NT
トモエソウ	(当初の予定どおり、育苗した株等の移植)		VU
ノウルシ	(当初の予定どおり、近隣地域で採集した株等の移植)	NT	VU
—	種子及び苗の確保が困難であるため。	VC	EN
サクラソウ	(当初の予定どおり、育苗した株等の移植)	NT	CR
チョウジソウ	(当初の予定どおり、育苗した株等の移植)	NT	EN
ノハナショウブ	(当初の予定どおり、近隣地域で採集した株等の移植)		VU
—	種子及び苗の確保が困難であるため。		CR
—	種子及び苗の確保が困難であるため。	VU	EN
—	種子及び苗の確保が困難であるため。		NT
—	別の場所での移植を検討する。		VU
—	種子及び苗の確保が困難であるため。	VU	EN
—	種子及び苗の確保が困難であるため。		NT
アマナ	散策路周辺の環境が生育適地であり、花は見た目が可憐で人目を引くため。		NT
アヤメ	散策路周辺の環境が生育適地であり、花は見た目が可憐で人目を引くため。		NT
イヌゴマ	散策路周辺の環境が生育適地であり、花は見た目が可憐で人目を引くため。		
オグルマ	散策路周辺の環境が生育適地であり、花は見た目が可憐で人目を引くため。		NT
オミナエシ	散策路周辺の環境が生育適地であり、花は見た目が可憐で人目を引くため。秋の七草。		EN
ワレモコウ	散策路周辺の環境が生育適地であり、花は見た目が可憐で人目を引くため。		

・環境省レッド…第4次環境省レッドリスト植物ⅠおよびⅡ（環境省2019）の掲載状況 ・埼玉県レッド…再改訂・埼玉県レッドリスト2011植物編（埼玉県、2011）の掲載状況  
 <レッドデータブックのカテゴリー区分> CR:絶滅危惧ⅠA類 EN:絶滅危惧ⅠB類 VU:絶滅危惧Ⅱ類 NT:準絶滅危惧

## 4. 追加対象種の概要と移植位置（案）

非表示